

## 世界にみんなの優しさを届けませんか？

社会科 S D Gs 有志ボランティアリーダー 高3 文理 平生さん (社会科 松野至)

いま、紛争で苦しむ人々がいる ～シリアの紛争に巻き込まれた人々～



8年以上におよぶシリアの内戦で、レバノンに避難したシリアの人々は約150万人と、レバノンの人口の6分の1にあたります。しかし、レバノンは国連の難民条約を締結していないため、シリアの人々を難民として保護する義務を負っていません。そのためレバノンのシリア難民の多くは十分な支援を受けられず、住む場所を探したり、生活費を賄うために仕事も見つけなければならないという状況におかれています。女性も男性も仕事を選ぶことができません。

いま、コロナでさらに苦しむ人々がいる 難民の新型コロナウイルスの現状

世界には約7,080万人が故郷を追われており、そのうちの約2,590万人が難民です。バングラデシュにある世界最大規模の難民キャンプであるサイドゥでは約86万人が避難生活を送っています。十分な数の手洗い場やトイレがないだけでなく、必要最低限の水もありません。また、難民キャンプでは人が多く十分な医療も発達していないため集団感染が起きてしまうと現地の医療サービスに多くの負担がかかってしまいます。こうして現在、新型コロナウイルスの感染拡大の危機にさらされているのです。



資料 国連 UNHCR 外務省 HP より

私たちは、学校の授業で世界の状況を学び、世界で活躍しているNGOの方々から、ICTを使って、直接お話を聞かせて頂き、現地の生の声を聞いてきました。そして、多くの方々と協働して、国際支援に取り組んできました。SDGs 有志ボランティアとして活動するようになって、より深く、物事を考えるようになりました。私たち高校生が出来る支援や活動は決して多いとは言えません。ですが、今ある「難民」の厳しい現状をより多くの人に伝えて行くこと、それも難民の方々を助ける上で大切なことだと思います。小さな支援でも、積み重ねていけば、いつか大きな力となって難民の方に優しさが届くと思います。

## 私たちと一緒にできることを！

☆難民に届ける子供服の回収、貧困地域の学校に手洗い場を作る募金活動、ボランティアを募集しています☆